

## 専門部会議事内容結果（要旨）

専門部会名	保健・医療・福祉部会（第2回）
開催日時	令和8年3月18日 18時30分～20時30分
開催会場	名寄市役所名寄庁舎4階第1委員会室
出席委員	出席者：上西委員、成田委員、松前委員、酒井委員、松本和俊委員、結城委員、坂上委員 欠席者：梅野委員、三間委員、望月委員
事務局出席者	馬場健康福祉部長、佐々木病院事務部長、倉澤こども・高齢者支援室長、桶谷病院事務部次長、朝岡病院事務部総務課長、西垣こども未来課長、鯖戸基幹相談支援センター所長、菅野保健センター所長、齋藤保健センター主幹、瀬野総合政策課長、横澤総合政策課主事
審議事項	<p><b>1 開 会</b></p> <p><b>2 主幹部長挨拶（馬場健康福祉部長）</b> お忙しい中お集まりいただき感謝。 総合計画の前期基本計画の所管する内容について説明をさせていただく。 審議会は今年度末までの任期であるが、多くの皆様に継続いただけると伺っている。引き続き計画の策定に向けてよろしくお願ひしたい。</p> <p><b>3 議 事</b> (1) 第3次総合計画前期基本計画骨子案について ⇒基本目標Ⅱ-1～6, 基本目標Ⅴ-1について所管部署から説明 いただいた意見等については2ページ以降に記載</p> <p><b>4 そ の 他（朝岡病院事務部総務課長）</b> 基本計画の内容について具体的な訂正等をいただいた。内容を踏まえ修正案を作成し、再度委員の皆様を確認いただけるよう進めていく。確認にあたっては参集の形ではなく、郵送で書類を送付する形での実施としたいがよろしいか。 →参加者承諾</p> <p><b>5 閉 会</b></p>

<p>発言内容</p>	<p>○基本目標Ⅱに関する意見等</p> <p>・Ⅱ-1 健康の保持増進</p> <p>■委員 ・アンケートを基本計画に反映している部分はあるか。  ・社会保険から退職後の国民健康保険への切り替えのタイミングまでの健康管理について一貫して進めていければいいと思うがそのような工夫はあるか。</p> <p>◎事務局 ・アンケートではてくTECHについて高評価の意見をいただいている。所管は違うが、連携して活用していきたい。てくTECHについて、財源に介護保険を活用することになった。今後はデータを介護予防分野でも活用していきたい。  また、運動しやすい施設があればとの意見もいただいている。既存の施設等を活用しながら健康に体を動かすことができればと思っている。  毎週水曜日健康体操教室を実施している。福祉センターにたくさんの人が集まっていた。福祉センターの小ホールについても貸出しできるようになった。十分に周知していく。  ・健康管理について健診の年齢の引き下げなどによる健康増進を考えている。働き盛りの健診情報が国保に引き継がれにくい課題はあるが、若いうちからの健康管理を啓発していく。</p> <p>■委員 健診がどんなものがあるかわからない。健診の一覧のようなものがあるのでは。</p> <p>■委員 てくTECHについて、健診の情報などについて入ってもいいと思う。</p> <p>◎事務局 健診については4月広報で周知している。去年からスマホでも予約できるようになっている。</p> <p>■委員 75歳以上になると健診項目がすごく少なくなる。</p> <p>◎事務局 健康増進法に基づくとどうしてもカバーできない部分ではある。</p> <p>・Ⅱ-2 地域医療の充実</p> <p>■委員 ・国や道の計画にぶら下がるので抽象的な内容になるのはわかるが、名寄市が安心して産み育てるまちになるために病院は不可欠。道内病院の分娩中止のニュース見た。医師の人材確保は重要であるが、書けない要因はあるのか。  ・道内の医療事故のニュースも出ているが、看護師の事故も多い。看護師の働きやすい環境作りについてハードの部分もあると思うが、その部分の考えあるか。</p> <p>◎事務局 ・医師の確保についてはデリケートな側面もある。地域の皆さんに浸透しているかはわからないが、派遣元の大学から定数受けている状況である。いなくなると確保したらいいのではという考えはあると思うが、今の関係のある大学と関係を絶つのが難しい部分もある。働きやすい環境を整えていくのが医師を含めスタッフの確保が重要になる。体系的な整備。医師の手間を減らす。または人数でフォローをしていく。</p>
-------------	--

<p>発言内容</p>	<p>手術室の増築でハイブリッド手術室を整備した。医師確保につながる投資だと考えて実施をしている。ハード面についてやるべきところはやっているというアピールでもある。</p> <p>・看護師の件については他病院でも他人事ではない内容だった。当院でも医療安全の部署より再通知を行い、注意喚起を行った。システムの活用や意識改革が必要。ダブルチェックよりシングルチェックの方が機能するという研究もある。</p> <p>研修などによるスキルアップや知識の共有を院内で整えていくのが重要である。地域を対象とした研修会も行っているの、そこでも対応していく。</p> <p>■委員 人材確保について計画に記載すべきとまでは言わないが、もっと取組などについて主張していいと思う。</p> <p>・Ⅱ-3 子育て支援の推進</p> <p>【資料の訂正】</p> <p>主な主要施策・取組（１）保育環境の整備と提供体制の確保 2行目 子育て支援サービス→保育サービスに記載を修正</p> <p>■委員 3人目の子どもが生まれたときに、保育料の助成等あるのか。</p> <p>◎事務局 保育料は令和元年度に無償化が始まり、以前は保育料や幼稚園の料金がかかっていたが、全額無償化となった。</p> <p>0～2歳までは小学校に入るまでのお子さまを数えた人数で料金が変わる。市町村民税の所得割が169,000円未満、世帯年収で約660万円以下の世帯であれば、年齢制限を撤廃し、扶養されている上のお子さまから数えて、2子目以降は保育料が無料になるもの。</p> <p>■委員 緊急対策により保育士が増えて待機児童0人となったということか。</p> <p>◎事務局 2年制から4年制になった際に、緊急対策として実施をした。補助事業を活用して民間も人材確保をしていただいた。事業を活用いただき確保に取り組んできた結果だと思っている。</p> <p>■委員 保育の魅力発信はどのようなものか。言葉が足りないのではないか。名寄市の保育所の魅力という表現に変えてはどうか。</p> <p>◎事務局 小中学生も職業体験を行っている。公開保育なども実施している。今は4年制になり、進路変更される学生も多くいると聞く。保育士を目指している方の決め手となるようなPRをしていく。アルバイトなどで魅力を感じてもらって、市内に残ってもらうことも考えている。</p> <p>記載の表現については持ち帰って内部で検討する。</p> <p>■委員 名寄市にどんな職があるか知らない人が多い。名寄市の保育の魅力を知っていただけると良いと思う。</p> <p>大学生に残っていただけないのはすごく残念。アルバイトも来てもらっているが、残ってくれない。保育士対策と合わせて、大学生の市内定着に繋げていけたらいいのではと感じる。</p>
-------------	---

<p>発言内容</p>	<p>■委員 大学が4年制になってから、進路が多様化している。また元々地元志向な学生も多い。市の中でも保育の質向上的な部分があると良いと思う。大学のプログラムと合わせて、学生にとっても魅力ある保育環境を作っていたくことも大事ではないか。</p> <p>■委員 保育士の離職率は高いのか。</p> <p>◎事務局 正職員は離職者少ない。会計年度職員は配偶者の転出での退職はある。介護の関係でやむなく退職される方もいるが、そこまで多くはない。民間の保育所・幼稚園は若年層の離職者もいると聞く。</p> <p>■委員 働きやすい環境作りは重要と考える。</p> <p>■委員 誰でも通園制度は計画に入らないのか。</p> <p>◎事務局 子育て支援の関係については（3）の子育て支援の充実に包含している。誰でも通園制度について、保育要件がないと入れない制度だったが、要件がない場合も受け入れる制度であり、取組の中の1つなので、実施計画の事業内容の中で記載していきたい。</p> <p>・ II-4 地域福祉の推進</p> <p>【資料の訂正】</p> <p>主な施策・取組（2）福祉関係団体との連携強化に記載の自治会という表現は削除。</p> <p>■委員 ・ダイバーシティインクルージョンの表現があると思うが、それであれば、「こども・高齢者・障がい者」などの記載はない方がいいのでは。</p> <p>・民生委員・児童委員の「・」はない方に記載を統一しては。</p> <p>◎事務局 表現、記載については内部で検討する。</p> <p>■委員 以前社協の除雪ボランティアに参加した。もっと取り組みについてPRしていても良いのでは。共助の考えは重要である。もっと協賛する方もいると思う。市内には冬期間のほうが時間をとれる職種の方もいる。</p> <p>◎事務局 社協は様々な事業を展開している。色々な地域の社協とも連携して取り組んでいる。「共助」の考えについて計画に盛り込んでいくのか、事業に入れていくのか検討する。</p> <p>・ II-5 高齢者福祉の推進</p> <p>【資料の訂正】</p> <p>別添資料のとおり訂正</p> <p>■委員 主な施策取組の修正でフレイル状態の内容を消しているが、現状と課題には残していると思う。フレイル予防だけでいいのかという部分もあると思う。</p> <p>◎事務局 表現については、検討する。</p> <p>■委員 フレイル予防とはどういうものか。</p> <p>◎事務局 要介護状態を未然に防止する取組のこと。（フレイル：心身の虚弱）</p>
-------------	--

<p>発言内容</p>	<p>■委員 言葉を知らない人も多い。わかりやすい表現も必要では。</p> <p>■委員 介護事業は市町村で取り組めることはあるのか。国や道の制度で実施できる内容は縛られていると思っていた。</p> <p>◎事務局 介護保険制度の中で地域支援事業として市町村が主体となって地域の特性にあったサービス提供している。</p> <p>■委員 生きがいくつりと社会参加の促進の地域づくりを進めるという表現は、行政で記載する内容なのか。地域で進めるべき内容ではないか。</p> <p>◎事務局 記載の表現について検討する。</p> <p>■委員 現状と課題に65歳以上と後期高齢者のどちらも記載する必要はあるのか。65歳以上は働いている人も多いので表現に違和感を感じる。</p> <p>◎事務局 表現方法について検討する。</p> <p>■委員 介護事業所の利用者のニーズがあふれているなど課題はないのか。</p> <p>◎事務局 介護の計画は来年度改定であるが、訪問介護の従事者が高齢である課題もある。従事者が足りない。</p> <p>・Ⅱ-6 障がい者福祉の推進</p> <p>■委員 現状と課題の面的整備とはなにか。表現が分かりにくい。</p> <p>◎事務局 お互いの足りない部分を地域で補い、面的に進めるという考えがある。わかりやすい表現について検討する。</p> <p>■委員 現状と課題の「障がいのある子どもや～整備してきましたが」の部分で主語と述語が合っていない。 また精神障害者の地域移行という言葉が現状に合っていないと感じる。</p> <p>◎事務局 内容の修正について検討する。</p> <p>■委員 名寄市は障がいのある方が生まれてから就労まで環境整っていると感じている。面的整備という表現ではなくて、具体例を挙げてはどうか。</p> <p>■委員 障害のある方「が」ではなくて「も」という表現の方が良いのでは。また合理的配慮や啓発活動など内容をもっと具体的にわかりやすくした方がよいのではないか。</p> <p>◎事務局 表現について検討する。</p> <p>■委員 生活環境等整備に必要なものは記載内容以外には無いのか。 新聞で車椅子の学生が通える様にボランティアをしているなど見たが、そのような部分が入るといいのではないか。 意思疎通だけでなく、全体で考えて欲しい。移動支援など。 タクシー券などもあると思うが、のる一とになった中で不便無いのか気になる。</p>
-------------	---

<p>発言内容</p>	<p>○基本目標Ⅴに関する意見等</p> <p>・Ⅴ-1 幼児教育の充実</p> <p>■委員 認定こども園等の保育園留学などは名寄市は考えていないのか。</p> <p>◎事務局 待機児童は現状0人であるが、令和5年度以前はいる状態であった。現在4月時点では0であるが、令和7年途中の待機児童が20人まで膨らんでいる状態。道内の研修などで事例を見て、取り組めたらいいなどは感じるが現状実施は難しい。</p> <p>■委員 提供体制が整備されないと複数の教諭によるチーム保育は無理ではないか。また民間の幼稚園への支援等について記載ないのか。</p> <p>◎事務局 他の幼稚園等に対しても同様に補助を実施しているので記載内容について検討したい。</p> <p>■委員 市が幼稚園に対して、「独自にがんばって」と言っている表現に見えた。記載方法を検討いただきたい。</p> <p>■委員 学童保育は本計画書のどこに包含されるか。また大学でも支援員の養成についてお願いしたい。</p> <p>◎事務局 学童保育部分については教育部所管のⅤ-5生涯学習・社会教育の振興に記載がある。所管は違うが連携しながら取り組んでいる。</p>
-------------	---